

石小っ子の教育

河内長野市立石仏小学校

全国学力・学習状況調査、すくすくテストからみた 石小っ子

4月に行われた全国学力・学習状況調査とすくすくテストの結果について学校全体の概要をまとめました。結果をもとに、本校の児童の傾向を考察しました。この結果をもとにして、本校の子どもたちの実態を把握し、今後の効果的な指導のあり方につなげて、取り組んでいきたいと考えております。

1. 学力調査の概要

【国語】 概要

正答率を見ると全国・大阪府の平均をほぼ全ての項目で上回っていた。無解答率についても、全国・大阪府を下回っており、日頃から問いに対して粘り強く取り組んでいる児童が多いことがわかる。

特に成果が見られた問題例

- 記述式の問題の正答率が高く、全国より10ポイント以上高い問題も見られた。特に、自分の考えが伝わるように書いたり、自分の考えをまとめて書く問題がよく解けていた。
- 送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使う問題では、正答率が100%のものもあった。
- 話し手が伝えたいことを中心をとらえる問題でも、成果がみられた。

特に課題が見られた問題例

- 日常よく使われる敬語の理解の問題では、全国・府平均よりも10ポイント程正答率が低かった。
- あたえられた情報の正しい扱い方や目的に応じて情報を見つける問いで課題がみられた。

【算数】 概要

各領域の正答率は、大阪府、全国共に上回っている。特に選択式、記述式に関する正答率は、大阪府、全国よりも大きく上回っており、無解答率もほぼ0%である。

特に成果が見られた問題例

- 正方形の意味や性質について理解しているかを問う問題や、加法と乗法の混合した式を問う問題などの基礎的な知識を問う問題の正答率は、90%以上と高い。
- 求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題では正答率が全国・府よりも20ポイント高かった。

特に課題が見られた問題例

- 答えを選んだ理由を、言葉や数を用いて説明する記述式の問題において、大阪府や全国よりもやや低かった。

2. すくすくテストの概要

【国語】 概要

平均正答率を大阪府と比べると、全体的に下回るものが多い結果となった。特に、「知識及び技能」

の情報の扱いに関する事項では、大きく下回った。

特に成果が見られた問題例

- 文中における言葉の意味を正しく理解し、その反対の意味を選ぶ問題では、大阪府の平均を上回った。また、文を正しく理解し、指示語の指示内容を捉える問題も、大阪府の平均を上回り、よく理解できていた。
- 問題が最後に向かうにつれて、本校は無回答率が大阪府を下回っている。正答率が低いものもあるが、最後まで問題に取り組む姿勢が見られた。

特に課題が見られた問題例

- 日常で使うローマ字を正しく読んだり、書いたりすることに課題があった。
- ことわざや故事成語の意味を正しく理解することに課題があった。
- 修飾語や主語・述語の関係など基礎的な文を書くことに課題があった。

【算数】 概要

1つの領域(「データの活用」)を除いて、他の領域は、大阪府の正答率を上回っている。

特に成果が見られた問題例

- グラフから読み取れる情報をもとに計算し、その求め方を言葉や式で説明する問題では、大阪府の正答率を7ポイント近く上回っている。
- 「思考・判断・表現」の観点の問題では、府の平均より6ポイント上回っていて、無回答率も低かった。
- 「図形」の領域では、長方形と正方形の絵画のそれぞれの面積の求め方を理解し、2つの面積の差を求めることができていて府の正答率を4.3ポイント上回った。

特に課題が見られた問題例

- 割り算を使う場面を理解し、立式して商を求める問題では、大阪府の正答率を7ポイント近く下回った。

【理科】 概要

各領域において、ほとんどが大阪府の正答率を上回っている。

特に成果が見られた問題例

- 「思考・判断・表現」の観点の問題では、大阪府の平均よりも大きく上回っていた。
- とじこめられた空気の性質についてはよく理解している。

特に課題が見られた問題例

- 方位磁針の正しい文字盤の回し方を理解しているか問う問題については、大阪府の正答率より5%下回った。
- 乾電池の直列つなぎと並列つなぎにした時の豆電球の明るさの違いの問題の正答率が低かった。

【わくわく問題】 概要

わくわく問題では、資料をもとに自分の考えたことを図や記述によって回答する問題が多い。図や表、グラフ等の内容を関連付けて正しくとらえることができ、それをもとに新たな課題を考える事もできる。

特に成果が見られた問題例

- 自分で考えたピストグラムを描きどのような工夫をしたのかを文章で書く問題は正答率が98%と高かった。
- 図や表、短い文章の内容を関連付けて正しくとらえる問題の正答率が高かった。

特に課題が見られた問題例

- ・ プログラミング的思考力を育むことを目的とした問題に課題が見られた。

3. 調査結果を受けて

(1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- ・ 自力解決学習を継続して行い、全体に発表できる力や技術を身に付けられるようにします。
- ・ II タイムを使って繰り返し計算問題に取り組んでいきます。
- ・ 問題の解決に向けて、自分の言葉で考えを導き出し、考察も書ける力を身につけられるようにします。
- ・ 知識とともに思考・判断・表現の力を付けるために、クロムブックを活用した反復練習にも取り組みます。
- ・ 教材から読み取ったことや、そこから考えたことを短い文章にまとめたり、それを伝え合ったりする活動を引き続き積極的に取り入れていきます。
- ・ 漢字の習得を図るとともに、どの教科の学習においても語彙力を伸ばすことにつながるような指導方法を取り入れ、取り組んでいきます。
- ・ 課題解決に向けて、自分で考え主体的に取り組む授業づくりに取り組んでいきます。

(2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・ 分からない言葉があったり、不思議だなと思うようなことがあるときにはそのままにしないで、質問したり、自分で調べて理解することが大切です。
- ・ 授業やテストで分からなかったことをそのままにせず、先生に質問したり、ノートや教科書を使って調べ、復習したり、やり直しに取り組みましょう。
- ・ 中学校に向けて、自主的に学習する習慣を身に付けましょう。
- ・ 学校で習ったことが、生活の中や身の回りのどんなことに活用されているのか考えるようにしましょう。
- ・ 漢字の練習に丁寧に取り組みましょう。今までに習った漢字も自主的にくり返し練習をして、確実に身につけましょう。
- ・ 自分の考えや感想など、文章を書いた後は、読み直しをしましょう。読む人にわかりやすい文章になっているか、言葉が正しく使えているかを見直しましょう。

(3) 保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- ・ 間違いやわからなところはそのままにせず、自分で調べたり、先生に聞いたりするように声掛けをお願いします。
- ・ 宿題などでわからない箇所があればわからないままにしないよう、教科書で確認、QR コードでヒントや動画のわかりやすく解説があります。そのままにしないよう、声掛けをお願いします。
- ・ 学んだことが実生活の中でどんな場面で活用されているか理解ができていない結果が目立ちました。日ごろの生活の中での気づきなど声をかけていただきますよう、よろしく願いします。
- ・ 日ごろから、社会の出来事について感じておられることを子どもたちと話す機会を作っていたければと思います。

4. 児童質問紙について結果からの考察

① 自尊感情

「家の人にほめられることがある」と答えた児童は 95.5% (府 92.3) 「自分にはよいところがあると思う」は 83.3% (府 85.9) 「将来の夢や目標を持っている」は 86.3% (府 85.3) 「先生はあなたのよいところを認めてくれている」は 90.9% (府 91.8) でした。学校では、授業中や休み時間はもちろんのこと、クラブ活動や委員会、たてわり活動も含めた学校生活全般を通じて、全職員で子どもたちを見つめ、励まし、ほめていこうと取り組んでいます。今後もいろいろな角度からその子のよさやがんばりを見つけ、子ども達に伝えていきたいと考えています。ご家庭とも協力しながら、もっと子どもたちの自尊感情を高めていけたらと思います。

② 学校生活

「難しいことがあっても、あきらめない」と答えた児童は 69.7% (府 66.7) で「何事にも一生けんめい努力する」は 68.2% (府 72.2) でした。一生けんめいに努力し最後までやり遂げようという気持ちを持つことは大切です。また、「困った時に相談できる先生がいる」は 78.8% (府 76) で、「困った時に相談できる友だちがいる」は 89.4% (府 90.1) でした。困りごとや不安がある時は一人で悩まず相談してほしいです。「自分の考えを積極的に発言している」は 53% (府 56) 「話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている」は 95.4% (府 94.3) でした。これはどの教科においても大切なことです。様々な学習場面で互いの立場や意図を意識して話し合う学習を今後も積極的に取り入れていきます。

③ 生活習慣

「朝食を毎日食べている」と答えた児童は 96.8% (府 92.6 全 93.9) でした。朝食は一日を活動的にいきいきと過ごすための大事なスイッチと言われています。「毎日同じくらいの時刻に寝ている」は 87.1% (府 80.3 全 81) 「毎日同じくらいの時刻に起きている」は 93.6% (府 89.5 全 90.5) と府や全国よりも高い数値となりました。これらのご家庭の協力があってのことだと感謝しています。規則正しい生活をおくることで、子どもたちは落ち着いて学習することができます。学校でも「はやね・はやおき・あさごはん」を指導し、よい習慣を続けていけるよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。引き続きご協力よろしくお願ひします。

④ 地域とのかかわり

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は 64.5% (府 51 全 57.8) 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか」は 83.9% (府 72.8 全 76.8) と府や全国に比べて高い数値となりました。石仏小学校ではたくさんの行事や授業の中で、学校運営協議会や PTA などの地域人材にご協力いただひています。地域の方や PTA の方と児童が一緒になって花壇をきれいにする花 We 部の活動やさまざまな校外学習のサポート等たくさんのつながりを持つことができました。そうした活動を通して地域のために自分にできることや地域を大切にする心が育つよう努めてまいります。今後もコミュニティースクール事業を推進してまいりますので、ぜひご参加下さい。